

久留米大学附設高等学校・中学校

教育振興基金への寄付募金のお願い

謹啓 皆様には健やかに過ごしのことと存じます。新型コロナウイルス感染症はようやく落ち着きを見せるようになりましたが、世界の情勢は依然として危機を孕んでおります。しかしながら、本年は通常通りに授業を実施することができておりますし、高校文化祭もほぼ疫病禍前と同様の様態で成功裡に執り行うことができました。今後も教職員一同、生徒たちの心身の健康に細心の配慮を払いながら、習得すべき学習内容を完全に達成すべく最大限の力を尽くしていくつもりでおります。

本校は「国家社会に貢献することができる誠実にして気概に富む人材を育成する」という建学精神の下、着実にその精神を実現しながら今日を迎えました。昨年度も例年同様の優れた進学実績を上げることができましたし、卒業生も国内外で目覚ましい活躍を遂げており、これも偏に皆様のご支援のお陰であると、心より感謝申し上げます。

本年度もこれまでの経験を活かしながら、より高度な教育活動を展開すべく教職員一丸となって邁進する所存でありますが、社会状況がどのようなものになるのであれ、通学時や在校時の安全確保、人類への脅威となりうる感染症の再来に備えた教育への情報技術・情報機器の導入・活用、さらには新たな教育課程の導入等に適切に対処するための、教育環境の整備およびこれを適切に実現するための財政基盤の強化が喫緊の課題となっております。

かかる課題を含めた教育の充実に効果的に寄与するものが、本校が設けている教育振興基金制度です。本基金を用いて、疫病禍においては臨時バスを運行しての分散登校、感染防止用の機器・薬剤の購入、遠隔授業の実施も視野に入れた情報端末の購入などを行うことができました。今後も、情勢の変化がもたらす事態に適切に対応するために必要不可欠の方策にこの基金を投入していきたいと思っております。

昨年よりの東欧での武力紛争を起因とする生産や流通の混乱も加わり、我が国の経済状況も小さからぬ苦境に直面しております。本校がこのような困難を乗り越え、そのための課題を解決し、2025年（令和7年）の高校創立75周年、中学創立55周年に向けてさらなる飛躍を遂げるためにも、皆さまよりのご支援を賜りたく、基金へのご寄付をお願いできればまことに幸いに存じます。

寄付は任意のものでありますが、何卒この趣旨をご理解下さり、是非ご賛同とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

末尾になりましたが、皆様のご健勝とご発展をご祈念申し上げます。

謹白

令和5年5月

久留米大学附設高等学校・中学校
校長 町田 健